

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム小笠2号館

目標達成計画

作成日: 令和3年 11月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
3	4	運営推進会議(書面会議)の内容で、テーマについての意見が少ない。	書面会議を行う場合でも、出席者が意見を出し易い内容となるように工夫する。	・資料は写真を掲載する。 ・質問を投げかけ、意見の出し易い内容を作成する。	6ヶ月
2	6	身体拘束廃止に関する指針が定期的に見直されていない。	常に身体拘束廃止に向けた取り組みを行う。	毎年1回、身体拘束廃止に関する指針の見直しを行う。	12ヶ月
1	23	介護記録の記入内容で、利用者の気持ちの分かる表現ができている時と、できていない時があり標準化されていない。	介護記録から、利用者の思いや気持ちを把握できる。	介護記録に、利用者本人の気持ち(表情・行動・言葉)を記録することを標準化する。	6カ月
4					カ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。